

W0075

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-172702
 (43)Date of publication of application : 23.06.2000

(51)Int.Cl. G06F 17/30

(21)Application number : 10-346052
 (22)Date of filing : 04.12.1998

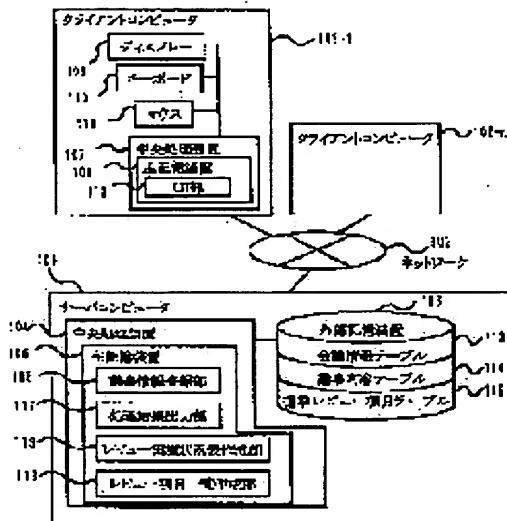
(71)Applicant : HITACHI LTD
 (72)Inventor : KUDO YUTAKA
 FURUHATA YUKARI
 FUKUSHI YUJI

(54) MINUTES MANAGING METHOD AND MINUTES MANAGEMENT SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To more efficiently confirm an actual discussion situation in past conferences about review items defined as standards.

SOLUTION: A server computer 101 produces a review execution situation display image that is obtained by making the number and execution dates of conferences where each review item decided from a conference information table 113 with which minutes information to be managed is registered and a proceedings content table 114 is discussed as a subject for discussion be correspondent to each review item and is shown in an image in which a list of standard review items prescribed in a standard review item table 115, sends it to client computers 102-1 to 102-n and displays it.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2000 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-172702

(P2000-172702A)

(43)公開日 平成12年6月23日 (2000.6.23)

(51)Int.Cl.
G 0 6 F 17/30

識別記号

F I
G 0 6 F 15/40マーク (参考)
3 1 0 F 5 B 0 7 5
3 7 0 A

審査請求 未請求 請求項の数7 O.L (全12頁)

(21)出願番号 特願平10-346052
 (22)出願日 平成10年12月4日 (1998.12.4)

(71)出願人 000005108
 株式会社日立製作所
 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
 (72)発明者 工藤 裕
 神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株式会社日立製作所システム開発研究所内
 (72)発明者 降旗 由香理
 東京都江東区新砂一丁目6番27号 株式会社日立製作所公共情報事業部内
 (74)代理人 100087170
 弁理士 富田 和子

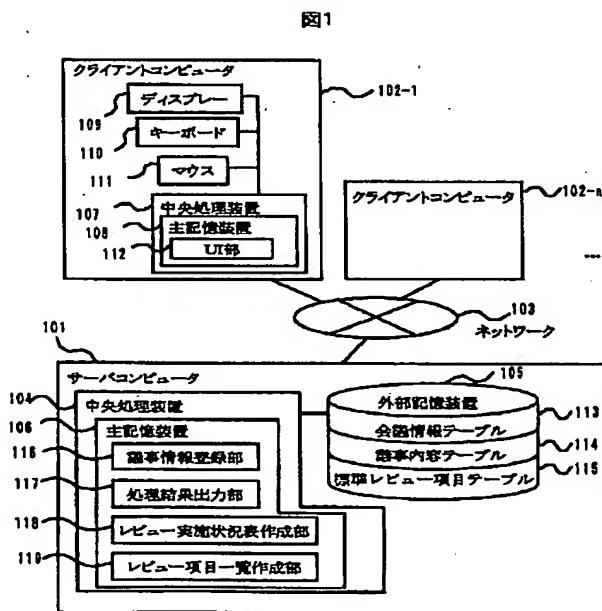
最終頁に続く

(54)【発明の名称】議事録管理方法及び議事録管理システム

(57)【要約】

【課題】より効率的に、標準として定められたレビュー項目の、過去の会議における実際の検討状況を確認可能とする。

【解決手段】サーバコンピュータ102は、標準レビュー項目テーブル115に規定された標準レビュー項目の一覧を表示した画面中に、管理する議事録の情報を登録した会議情報テーブル113と議事内容テーブル114から求まる各レビュー項目を議題として検討した会議の回数と実施日を、各レビュー項目に対応づけて表示したレビュー実施状況表示画面を作成し、クライアントコンピュータ102に送り、表示させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ネットワークを介して接続されたサーバコンピュータと少なくとも1台のクライアントコンピュータと有するコンピュータシステムを用いて、会議の議事録を管理する議事録管理方法であって、
 前記サーバコンピュータに、会議において検討すべき項目を登録した標準レビュー項目テーブルを記憶し、
 前記クライアントコンピュータにおいて、実施された会議毎に、当該会議における前記標準レビュー項目テーブルに登録された各項目の検討内容を表す議事録の入力を利用者より受け付け、入力された議事録の登録をサーバコンピュータに依頼し、
 前記サーバコンピュータにおいて、各クライアントコンピュータから登録を依頼された議事録を蓄積し、
 前記クライアントコンピュータから、前記標準レビュー項目テーブルに登録された各項目の検討状況の問い合わせをサーバコンピュータに発行し、
 前記サーバコンピュータにおいて、前記クライアントコンピュータから発行された前記問い合わせに応答して、前記標準レビュー項目テーブルに登録された全ての項目を表示し、かつ、前記標準レビュー項目テーブルに登録された項目のうちの蓄積した議事録に対応する会議において検討された項目の表示に対応づけて、当該項目の蓄積した議事録から定まる検討状況を表示した表示画面をクライアントコンピュータにおいて生成するための表示情報を生成し、前記問い合わせを発行したクライアントコンピュータに送り、
 前記問い合わせを発行したクライアントコンピュータにおいて、サーバコンピュータから送られた前記表示情報に従って前記表示画面を表示することを特徴とする議事録管理方法。

【請求項2】請求項1記載の議事録管理方法であって、前記議事録は、会議が対象としているプロジェクト名を含み、

前記クライアントコンピュータから発行する問い合わせは、前記標準レビュー項目テーブルに登録された各項目の検討状況の問い合わせの対象とするプロジェクト名の指定を含み、

前記サーバコンピュータは、前記クライアントコンピュータから発行された前記問い合わせに応答して、前記標準レビュー項目テーブルに登録された全ての項目を表示し、かつ、前記標準レビュー項目テーブルに登録された項目のうちの、蓄積した議事録のうちの指定されたプロジェクト名を含む議事録に対応する会議において検討された項目の表示に対応づけて、当該项目的指定されたプロジェクト名を含む議事録から定まる検討状況を表示した表示画面をクライアントコンピュータにおいて生成するため、前記表示情報を生成することを特徴とする議事録管理方法。

【請求項3】請求項1または2記載の議事管理方法であ

って、

前記議事録は、前記検討内容として、会議において検討した項目の記述を含み、

クライアントコンピュータにおいて、前記標準レビュー

05 項目テーブルに登録された項目のうちの次回会議で検討する項目の選択を、表示した前記表示画面上で利用者より受け付け、選択された項目の指定を含めた議事録作成要求をサーバコンピュータに発行し、

サーバコンピュータにおいて、前記議事録作成要求に応答して、指定された項目を、前記会議において検討した項目の記述として含めた、次回会議用の議事録の雛形、または、次回会議用資料を作成し、前記議事録作成要求を発行したクライアントコンピュータに送ることを特徴とする議事録管理方法。

10 15 【請求項4】請求項3記載の議事録管理方法であって、前記標準レビュー項目テーブルには、当該標準レビュー項目テーブルに登録された項目に関する関連事項が登録されており、

前記議事録は、会議において検討した項目に関する関連事項の記述を含み、前記サーバコンピュータは、前記議事録作成要求に応答して、指定された項目を、前記会議において検討した項目の記述として含め、かつ、前記標準レビュー項目テーブルに登録された指定された項目に関する関連事項を、会議において検討した項目に関する関連事項の記述として含めた次回会議用の議事録の雛形、または、次回会議用資料として作成することを特徴とする議事録管理方法。

【請求項5】ネットワークを介して少なくとも1台のクライアント装置に接続され、議事録管理サーバ装置であ

30 35 つて、
 会議において検討すべき項目を登録した標準レビュー項目テーブルを記憶する手段と、

前記クライアント装置から登録を依頼された、実施された会議毎に、当該会議における前記標準レビュー項目テーブルに登録された各項目の検討内容を表す議事録を蓄積する手段と、

前記クライアント装置から発行された問い合わせに応答して、前記標準レビュー項目テーブルに登録された全ての項目を表示し、かつ、前記標準レビュー項目テーブルに登録された項目のうちの蓄積した議事録に対応する会議において検討された項目の表示に対応づけて、当該项目的蓄積した議事録から定まる検討状況を表示した表示画面を生成するための表示情報を生成し、前記問い合わせを発行したクライアント装置に送付する手段とを有することを特徴とする議事録管理サーバ装置。

【請求項6】請求項5記載のサーバ装置と、当該サーバ装置と前記ネットワークを介して接続する前記少なくとも1台のクライアント装置を有する議事録管理システムであって、

50 前記クライアント装置は、前記議事録の入力を利用者よ

り受け付け、入力された議事録の登録をサーバ装置に依頼する手段と、前記問い合わせをサーバ装置に発行する手段と、サーバ装置から送られた前記表示情報に従って前記表示画面を表示する手段とを有することを特徴とする議事録管理システム。

【請求項7】電子計算機によって読み取られ実行されるプログラムを記憶した記憶媒体であって、前記プログラムは、前記電子計算機に、会議において検討すべき項目を登録した標準レビュー項目テーブルを記憶する手段と、登録を依頼された、実施された会議毎に、当該会議における前記標準レビュー項目テーブルに登録された各項目の検討内容を表す議事録を蓄積する手段と、発行された問い合わせに応答して、前記標準レビュー項目テーブルに登録された全ての項目を表示し、かつ、前記標準レビュー項目テーブルに登録された項目のうちの蓄積した議事録に対応する会議において検討された項目の表示に対応づけて、当該項目の蓄積した議事録から定まる検討状況を表示した表示画面を生成するための表示情報を生成し、前記問い合わせの発行元に送付する手段とを形成することを特徴とする記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、議事録を電子的に管理する議事録管理システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】作業の標準化や完全化のために、プロジェクト遂行に際して検討すべきレビュー項目を、標準として予め設定しておくことがある。このような場合、プロジェクト遂行に際しては、適宜、会議（議事録が作成される打ち合わせ、その他の各種会合を含む）を繰り返し、標準として定められたレビュー項目の全てについて検討し、結論を出すことが求められる。そして、従来は、このような会議の議事録は、次のように管理されていた。

【0003】（1）会議毎にワープロなどで議事録を作成する。（2）電子メールなどの通信手段によって関係者へ議事録を配布するか、または紙に印刷して議事録を配布する。（3）文書ファイルサーバなどのコンピュータ機器に電子的な議事録ファイルとして議事録を保管するか、または、紙に印刷した状態でファイルに綴じて議事録を保管する。（4）文書ファイルサーバに保管された電子的な議事録ファイルを一つずつ参照するか、または、紙に印刷された議事録を一枚ずつ手捲りで参照し、過去の会議で議題として検討されたレビュー項目や、その検討状況を確認し、これに応じて、予め設定されたレビュー項目の中から次回の会議の議題とするレビュー項目を決定し、その一覧をワープロなどにより作成し、次回の会議に臨む。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、以上のような従来の議事録の管理の方法では、標準として定められたレビュー項目が実際に過去の会議においての議題として検討されたかどうかの確認は、利用者は、文書ファイル

05 サーバに保管された電子的な議事録ファイルを一つずつ参照するか、または、紙に印刷された議事録を一枚ずつ手捲りで参照することにより行わなければならなかつた。このため、標準として定められたレビュー項目が実際に過去の会議においての議題として検討されたかどうかを効率的に確認することができなかつた。

【0005】また、従来の議事録の管理の方法では、次回の会議の議題の一覧を作成するためには、利用者が、過去の会議においての議題として検討されたレビュー項目と、標準として定められたレビュー項目とを比較し、

15 標準として定められたレビュー項目の中から、既に議題として検討されたレビュー項目を除外した後に、残されたレビュー項目のなかから、次回の会議の議題とするレビュー項目を抽出し、その一覧をワープロなどにより作成する必要があつた。そして、会議の実施後は、その一覧に従って議事録を作成することになる。このために、効率的に次回の会議の議題の一覧を作成したり、議事録を作成することができなかつた。

【0006】すなわち、従来の議事録の管理の方法によれば、利用者が、議事録を用いた作業を充分に効率的に行うことができないという問題があつた。

【0007】そこで、本発明は、利用者の議事録を用いた作業をより効率的に行えるように、利用者の議事録の利用を支援することを課題とする。

【0008】より具体的には、本発明は、たとえば、利用者が、より効率的に、標準として定められたレビュー項目の、過去の会議における実際の検討状況を確認することができる議事録管理システムや、利用者が、より効率的に次回の会議の議題の一覧の作成や議事録の作成を行うことができる議事録管理システムを提供することを課題とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】前記課題達成のために、本発明は、たとえば、ネットワークを介して接続されたサーバコンピュータと少なくとも1台のクライアントコンピュータと有するコンピュータシステムを用いて、会議の議事録を管理する議事録管理方法であつて、前記サーバコンピュータに、会議において検討すべき項目を登録した標準レビュー項目テーブルを記憶し、前記クライアントコンピュータにおいて、実施された会議毎に、当該会議における前記標準レビュー項目テーブルに登録された各項目の検討内容を表す議事録の入力を利用者より受け付け、入力された議事録の登録をサーバコンピュータに依頼し、前記サーバコンピュータにおいて、各クライアントコンピュータから登録を依頼された議事録を蓄積し、前記クライアントコンピュータから、前記標準レ

ビュー項目テーブルに登録された各項目の検討状況の問い合わせをサーバコンピュータに発行し、前記サーバコンピュータにおいて、前記クライアントコンピュータから発行された前記問い合わせに応答して、前記標準レビュー項目テーブルに登録された全ての項目を表示し、かつ、前記標準レビュー項目テーブルに登録された項目のうちの蓄積した議事録に対応する会議において検討された項目の表示に対応づけて、当該項目の蓄積した議事録から定まる検討状況を表示した表示画面をクライアントコンピュータにおいて生成するための表示情報を生成し、前記問い合わせを発行したクライアントコンピュータに送り、前記問い合わせを発行したクライアントコンピュータにおいて、サーバコンピュータから送られた前記表示情報に従って前記表示画面を表示することを特徴とする議事録管理方法を提供する。

【0010】なお、以上の議事録管理方法において、前記議事録は、会議の実施日を含み、前記表示画面は、前記標準レビュー項目テーブルに登録された項目のうちの蓄積した議事録に対応する会議において検討された項目の表示に対応づけられた、当該項目が検討された会議の実施日の表示を、前記検討状況の表示として含むようにしてもよい。

【0011】また、前記表示画面は、前記標準レビュー項目テーブルに登録された項目のうちの蓄積した議事録に対応する会議において検討された項目の表示に対応づけられた、当該項目が検討された会議の回数の表示を、前記検討状況の表示として含むようにしてもよい。

【0012】このような議事録管理方法によれば、クライアントコンピュータの利用者に、実施した会議の中で検討された項目の検討状況を、前記標準レビュー項目テーブルに登録された全ての項目の表示と関連づけた形態で表示することができる。したがって、利用者は、この表示より、前記標準レビュー項目テーブルに登録された全ての項目との関係において、項目の検討状況を即座に把握することができるようになる。また、これより直ちに、次回の会議で議題とすべき項目を選択することができるようになる。

【0013】また、さらに、このような議事録管理方法において、前記議事録に、前記検討内容として、会議において検討した項目の記述を含め、クライアントコンピュータにおいて、前記標準レビュー項目テーブルに登録された項目のうちの次回会議で検討する項目の選択を、表示した前記表示画面上で利用者より受け付け、選択された項目の指定を含めた議事録作成要求をサーバコンピュータに発行し、サーバコンピュータにおいて、前記議事録作成要求に応答して、指定された項目を、前記会議において検討した項目の記述として含めた、次回会議用の議事録の雛形、または、次回会議用資料を作成し、前記議事録作成要求を発行したクライアントコンピュータに送るようにもよい。

- 【0014】また、このような議事録管理方法において、前記標準レビュー項目テーブルには、当該標準レビュー項目テーブルに登録された項目に関する関連事項が登録されており、前記議事録は、会議において検討した項目に関する関連事項の記述を含み、前記サーバコンピュータは、前記議事録作成要求に応答して、指定された項目を、前記会議において検討した項目の記述として含め、かつ、前記標準レビュー項目テーブルに登録された指定された項目に関する関連事項を、会議において検討した項目に関する関連事項の記述として含めた次回会議用の議事録の雛形、または、次回会議用資料として作成するようにしてもよい。また、この場合において、関連事項は、項目の検討結果に影響を受けるドキュメントの名称としてよい。
- 【0015】このような方法によれば、クライアントコンピュータの利用者は、前記表示画面上で項目を選択するだけで、ただちに、選択した項目や、その関連事項を含んだ次回会議用の議事録の雛形、または、次回会議用資料を得ることができるようにになる。
- 【0016】以上のように、本発明によれば、利用者は、議事録を用いた各種作業をより効率的に行えるようになる。
- 【0017】
【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態について説明する。
- 【0018】図1に、本実施形態に係る議事録管理システムの構成を示す。
- 【0019】図1において、101はサーバコンピュータであり、中央処理装置104、主記憶装置106、ハードディスクなどの外部記憶装置105を備える。ここで、主記憶装置106には、中央処理装置104の実行により、議事録情報登録部116、処理結果出力部117、レビュー実施状況表作成部118、レビュー項目一覧作成部119などをプロセスとしてサーバコンピュータ上に具現化するプログラムが格納されている。また、外部記憶装置105には、会議情報テーブル113、議事内容テーブル114、標準レビュー項目テーブル115が格納されている。
- 【0020】また、102-1～102-nは、利用者からの入力の受け付けや、ネットワーク103を介してサーバコンピュータ101と情報の送受や、サーバコンピュータ101から送られた情報の表示などを行うクライアントコンピュータである。クライアントコンピュータ102-1～102-nは、中央処理装置107、主記憶装置108、マウス111やキーボード110などの入力装置、ディスプレー109などの表示装置を備える。主記憶装置108には、中央処理装置107の実行により、利用者との間の入出力やサーバコンピュータ101との情報の送受を担うUI部112を、プロセスとしてクライアントコンピュータ102-1～102-n

上に具現化するプログラムが格納されている。

【0021】ここで、サーバコンピュータ101の主記憶装置106やクライアントコンピュータ102-1～102-nの主記憶装置108に格納されるプログラムは、必要に応じて、CD-ROMなどの可搬型の記憶媒体からサーバコンピュータ101やクライアントコンピュータ102-1～102-nに提供されるものであってよい。

【0022】次に、本議事録管理システムが取り扱う議事録について説明する。

【0023】ただし、以下では、クライアントコンピュータ102-1～102-nに共通の事項を説明するときは、クライアントコンピュータ102-1～102-nを、単に、クライアントコンピュータ102として示す。

【0024】まず、図2に、各クライアントコンピュータ102のUI部112によって表示される議事録入力フォーマットを示す。本議事録入力フォーマットに入力された内容を記述したものが一つの議事録となる。

【0025】図示するように、この議事録入力フォーマットには、会議のタイトルであるタイトル501、会議が対象とするプロジェクトの名前であるプロジェクト名502、会議を行なった日付である実施日503、会議の出席者である出席者504、議事内容を表す内容505、対象ドキュメントの名称を表す対象ドキュメント506が入力される。また、内容505には、大項目、小項目、結論、理由を入力する。

【0026】ここで、小項目が会議で検討した個々のレビュー項目を表し、この小項目に対して結論と理由が記述される。大項目は、小項目を分類したものである。議事内容には、大項目を複数記述することができ、各大項目に対して小項目を複数記述することができる。内容505には、大項目、小項目、結論、理由の識別とこれらの対応を認識可能な形態で、これらを入力する。図2は、大項目を「1」、「2」、...のように番号を付けて入力し、小項目を「1.1」、「1.2」、「1.3」、...のように、その小項目が属する大項目の直後にその大項目に付けた番号に枝番を付した枝番付き番号を付けて入力し、小項目の直後にその小項目に対して記述する結論と理由を「結論」、「理由」の名称と共に入力することにより、これらの識別とこれらの対応を認識可能とした例を表している。

【0027】なお、対象ドキュメントが表す名称は、小項目の検討結果によって影響を受けるドキュメントの名称である。

【0028】次に、サーバコンピュータ101の外部記憶装置105に、格納される会議情報テーブル113、議事内容テーブル114、標準レビュー項目テーブル115について説明する。

【0029】まず、図3に、会議情報テーブル113の

内容を示す。

【0030】図3の、会議情報テーブル113は、過去に作成された議事録毎のレコード（図中各行）を有する。各レコードにおいて、201は議事録を識別するための議事録ID、202は議事録に記述されたプロジェクト名502、203は議事録に記述されたタイトル501、204は議事録に記述された実施日503、205は議事録に記述された出席者504、206は議事録に記述された対象ドキュメント505である。

10 【0031】次に、図4に議事内容テーブル114の内容を示す。

【0032】議事内容テーブル114は、過去に作成された議事録に含まれる小項目の記述毎のレコード（図中各行）を有する。

15 【0033】図4において、301は小項目が内容505に記述された議事録の議事録ID201、302は小項目の議事録内の識別番号、303は小項目に対応する大項目として議事録の内容505内に記述された大項目、304は小項目に対して議事録の内容505内に記述された結論、306は小項目に対して議事録の内容505内に記述された理由である。

20 【0034】次に、図5に、標準レビュー項目テーブル115の内容を示す。

【0035】標準レビュー項目テーブル115は、プロジェクトの会議中において検討しなければならないレビュー項目である標準レビュー項目を規定する、標準レビュー項目の一覧である。ここで、個々の標準レビュー項目は、議事録の小項目に対応しており、標準レビュー項目テーブル115は標準レビュー項目ごとのレコードを有する。

25 【0036】図5において、401は標準レビュー項目を識別するための標準レビュー項目IDである。404は標準レビュー項目である小項目であり前述した議事録の内容505に記述される小項目として用いられる。403は標準レビュー項目である小項目が分類される大項目であり前述した議事録の内容505に記述される大項目として用いられる。402は大項目が分類される分類である。また、405は標準レビュー項目である小項目の検討結果を反映させる対象ドキュメントであり、前述した議事録の対象ドキュメント506として用いられる。たとえば、標準レビュー項目IDが「1」のレビュー項目は、システム構成設計時に検討すべき項目で、大項目として機器構成について、小項目としてはクライアント仕様について検討し、検討結果はアプリケーション処理方式図に記載すべきことを示している。

30 【0037】以下、本議事録管理システムの動作について説明する。

【0038】まず、予め、図5に示した標準レビュー項目テーブル115が作成され、サーバコンピュータ101の外部記憶装置105に記憶される。

【0039】この状態において、クライアントコンピュータ102のUI部112が起動されると、UI部112は、図6に示すレビュー実施状況表示画面を表示する。ただし、この状態において、レビュー実施状況表示画面のプロジェクト名入力欄601、レビュー実施状況表示欄620は空白の状態で表示される。

【0040】ここで、利用者はクライアントコンピュータ102に表示されているレビュー実施状況表示画面のプロジェクト名入力欄601に、レビュー実施状況を出力させたいプロジェクトの名前を入力し表示ボタン602を選択すると、本議事録管理システムは、図7に示した処理を行う。

【0041】すなわち、まず、クライアントコンピュータ102のUI部112は、プロジェクト名入力欄601に入力されたプロジェクト名をサーバコンピュータ101に送信する（ステップ901）。

【0042】一方、サーバコンピュータ101では、レビュー実施状況表作成部118が、送信されたプロジェクト名を受け取り、受け取ったプロジェクト名と一致するプロジェクト名202が登録されている会議情報テーブル113のレコードの議事録ID201を取得し、取得した議事録ID201と同じ議事録ID301を持つ議事内容テーブル114のレコードを抽出し、抽出したレコードよりなる抽出議事内容テーブルを作成する（ステップ902）。

【0043】次に、レビュー実施状況表作成部118は、標準レビュー項目テーブル115のすべてのレコードに順次着目し、ステップ904からステップ907の処理を行う（ステップ903）。

【0044】すなわち、ステップ904では、標準レビュー項目テーブル115の着目したレコードの大項目403及び小項目404と、一致する大項目303及び小項目304を持つ抽出議事内容テーブルのレコードが存在するかどうかを調べ、存在する場合には、ステップ905に進む。一方、存在しない場合には、ステップ903に戻り、標準レビュー項目テーブル115に着目していないレコードが残っていれば、標準レビュー項目テーブル115の次のレコードに着目し、ステップ904に進む。

【0045】次に、ステップ905では、標準レビュー項目テーブル115の着目したレコードのレビュー項目IDを取得する。

【0046】次にステップ906では、ステップ904の判定で、標準レビュー項目テーブル115の着目したレコードの大項目403及び小項目404と大項目303及び小項目304が一致すると判定された、抽出議事内容テーブルのレコードの議事録ID301を取得する。そして、取得した議事録IDと同じ議事録IDをもつ会議情報テーブル113上のレコードから実施日204を取得する。

【0047】次に、ステップ905で取得したレビュー項目IDとステップ906で取得した実施日を記述したレコードを、一時的に主記憶装置104上に生成したレビュー実施状況集計テーブルに追加し、ステップ903に戻り、標準レビュー項目テーブル115に着目していないレコードが残っていれば、標準レビュー項目テーブル115の次のレコードに着目し、ステップ904に進む。ここで、実施状況集計テーブルは、図8に示すように、ステップ905で取得したレビュー項目ID701とステップ906で取得した実施日702を記述したレコードの集合となる。

【0048】以上のステップ904からステップ907の処理を、標準レビュー項目テーブル115のすべてのレコードについて終了したならば、ステップ908に進み、標準レビュー項目テーブル115と、ステップ903からステップ907の繰り返しによって作成されたレビュー実施状況集計テーブルを用いて、レビュー実施状況表示欄画面を表す表示情報を作成し、処理結果出力部117によりクライアントコンピュータ102に送信する。

【0049】クライアントコンピュータ102のUI部112は、ステップ908によって送信された表示情報を従って、レビュー実施状況表示欄画面を、図6のレビュー実施状況表示画面のレビュー実施状況表示欄620中に表示する。

【0050】ここで、サーバコンピュータ101のレビュー実施状況表作成部118は、図6のレビュー実施状況表示欄620中に示したレビュー実施状況表示欄画面を表す表示情報を作成する。

【0051】すなわち、レビュー実施状況表示欄620中において、604には標準レビュー項目テーブル115の分類402の値を、605には標準レビュー項目テーブル115の大項目403の値を、606には標準レビュー項目テーブル115の小項目404の値を、これらの分類関係に従って表示する。すなわち、標準レビュー項目テーブル115に含まれる分類401の値を、同じ値が複数ある場合には一つに代表させて一覧表示し、各分類の値の表示に対応した位置に、各分類に分類された大項目403の値を、同じ大項目403の値が複数ある場合には一つに代表させて一覧表示し、各大項目の値の表示に対応した位置に、各大項目に分類された各小項目404の値を一覧表示する。

【0052】また、レビュー実施状況表示欄620中において、607は、606に表示した小項目404に対応して記述される回数であり、ここには、対応する小項目404が記述された標準レビュー項目テーブル115のレコードのレビュー項目ID401と同じ、レビュー項目ID701を持つレビュー実施状況集計テーブルのレコード数を表示する。これは、対応する小項目（標準レビュー項目）を議題に含む会議が何回行われたか、すなわ

ちその小項目（標準レビュー項目）を含む議事録が何件作成されているかを表す。また、608は、606に表示した小項目404に対応して記述される日付であり、ここには、対応する小項目404が記述された標準レビュー項目テーブル115のレコードのレビュー項目ID401と同じ、レビュー項目ID701を持つレビュー実施状況集計テーブルのレコードに登録された実施日を表示する。これは、対応する小項目（標準レビュー項目）を議題に含む会議が、いつ行われたかを示す。なお、この実施日の選択により、選択された実施日と小項目とプロジェクト名に対応する議事録を、サーバコンピュータ101からクライアントコンピュータ102に読み出し、表示するように本議事録管理システムを構成してもよい。また、小項目の選択により、選択された小項目とプロジェクト名に対応する議事録を、サーバコンピュータ101からクライアントコンピュータ102に読み出し、表示させるように本議事録管理システムを構成してもよい。

【0053】また、レビュー実施状況表示欄620中では、分類604、大項目605、小項目606の各値の表示の先頭に丸、ばつ、三角の图形を付す。小項目606の値の先頭には、その小項目606の値に対応して1以上の回数を表示する場合に丸を、その他の場合にはばつを付す。また、大項目605の値の先頭には、その大項目605の値に対応する小項目606の値の全てに丸が付される場合に丸を、一部にのみ丸が付される場合に三角を、全く丸が付されていない場合にばつを付す。また、分類604の値の先頭には、その分類604の値に対応する大項目605の値の全てに丸が付される場合に丸を、一部にのみ丸が付される場合に三角を、全く丸が付されていない場合にばつを付す。ただし、その小項目の検討の完了を議事録中に利用者が記述するようにし、この記述に従って、小項目の各値の表示の先頭に付す丸、ばつ、三角を決定するようにしてもよい。

【0054】さて、レビュー実施状況表示欄620中では、分類604、大項目605、小項目606の各値の表示の先頭には、四角のチェックボックス609を設けておく。また、サーバコンピュータ101のレビュー実施状況表作成部118は、小項目606の各値に対応づけた、その小項目が登録された標準レビュー項目テーブル115のレコードのレビュー項目ID401を、非表示の情報として表示情報に含め、クライアントコンピュータ102に送る。

【0055】以上のような表示によれば、指定されたプロジェクトで実施した会議の中で検討された項目を、その項目について検討した会議の回数、会議の実施日などの情報と共に、予め設定された標準レビュー項目一覧と対応づけた形態で表示することができる。したがって、利用者は、この表示より、予め設定された標準レビュー項目全体との関係において、レビューの実施状況を即座

に把握することができるようになる。また、これより直ちに、次回の会議で議題とすべき項目を選択することができるようになる。

【0056】さて、以上のようにして、レビュー実施状況表示欄620中にレビュー実施状況が表示された状態において、利用者は、レビュー実施状況表示欄620中の表示より、次回の会議で議題に含める小項目または大項目または分類を、チェックボックス609をマウス111などの入力装置を用いてチェックすることにより選択する。また、利用者は、必要に応じてプロジェクト名502を変更する。そして、利用者が、チェックボックス609をチェックした後、新規議事録作成ボタン603を選択すると、本議事録管理システムは、図9に示す、新規議事録を作成するための処理を行う。

【0057】すなわち、チェックボックス609をチェックされ、新規議事録作成ボタン603が選択されると（ステップ1001）と、クライアントコンピュータ102のUI部112は、プロジェクト名502と、サーバコンピュータ101から送られた表示情報に含まれている、チェックボックスがチェックされた全ての小項目に對応づけられたレビュー項目ID401とをサーバコンピュータ101に送信する（ステップ1002）。ここで、チェックされたチェックボックスが大項目のものである場合には、その大項目に対応する全ての小項目に對応づけられたレビュー項目ID401を、チェックされたチェックボックスが分類のものである場合には、その分類に對応する全ての大項目に對応するすべての小項目に對応づけられたレビュー項目ID401を送信する。

【0058】一方、サーバコンピュータ101の、レビュー項目一覧作成部119は、レビュー項目ID401とプロジェクト名を受け取る（ステップ1003）。

【0059】そして、受け取ったレビュー項目ID401に順次着目し、着目したレビュー項目ID401についてステップ1005、ステップ1006の処理を行う（ステップ1004）。

【0060】ステップ1005では、標準レビュー項目テーブル115から、着目したレビュー項目ID401と同じ値を持つレコードの大項目403と小項目404を取得し、一時的に主記憶装置108内に作成された議事録内容用バッファにコピーする。

【0061】同様に、標準レビュー項目テーブル115から、着目したレビュー項目ID401と同じ値をもつレコードの対象ドキュメント405を取得し、一時的に主記憶装置108内に作成された対象ドキュメント用バッファにコピーする（ステップ1006）。

【0062】受け取ったレビュー項目IDの全てについて、ステップ1005、ステップ1006の処理が終了したならば、ステップ1007で、作成した議事録内容用バッファの内容と、ステップ1006で作成した対象ドキュメント用バッファの内容と、クライアントコンピュ

ータ102から受信したプロジェクト名を、それぞれ、図2に示した議事録入力フォーマットの対応する箇所に前述のように入力したものを作成し、処理結果出力部117によってクライアントコンピュータ102へ送信する。

【0063】そして、クライアントコンピュータ102のUI部112は、ステップ1007によって送信された議事録入力フォーマットを受信し表示する。

【0064】なお、この場合、図2に示した議事録入力フォーマットは、途中まで情報が入力されたものとなり、タイトル501と実施日503と出席者504は空欄となる。また、内容505では結論と理由は空欄で大項目と小項目のみが表示される。

【0065】したがって、利用者は、図6のレビュー実施状況表示画面で次の会議の議題として分類や大項目や小項目を選択するだけで、選択した分類や大項目や小項目に対応する大項目や小項目が内容505の欄に、選択した分類や大項目や小項目に対応する対象ドキュメントが対象ドキュメント506の欄に、プロジェクト名がプロジェクト名502の欄に入力した議事録入力フォーマットを得ることができる。そして、利用者は、このようにして途中まで情報が入力された議事録入力フォーマットが表す議事録を、次回実施される会議の議題の一覧として使用することができると共に、会議実施後は、議事録の雰形として会議の議事録作成に使用することができる。

【0066】以下、このようにして途中まで情報が入力された議事録入力フォーマットを用いて議事録を作成し、サーバコンピュータ101に登録する際の動作を説明する。なお、利用者の選択に応じて、図9示す処理を経ずに、情報が全く入力されていない直接議事録入力フォーマットを呼び出し、議事録を作成し登録するとしてもよい。この場合の、議事録作成、登録の動作も以下と同様である。

【0067】図10に示すように、クライアントコンピュータ102のUI部112は、図2の議事録入力フォーマットへの、利用者各欄の入力を受け付ける（ステップ801）。そして、議事録入力フォーマットの登録ボタン507が利用者によって選択されると、入力された情報を議事録としてサーバコンピュータ101に送信する（ステップ802）。

【0068】一方、サーバコンピュータ101の議事録登録部116は、議事録を受け取り（ステップ803）、会議情報テーブル113の議事録ID201が一意になるように、新たな議事録IDを決定する（ステップ804）。

【0069】次に、議事録登録部116によって、ステップ804で決定した議事録ID、議事録に記述されたタイトル501、プロジェクト名502、実施日503及び出席者504の内容を、議事録ID201、タイト

ル203、プロジェクト名202、実施日204、出席者205として設定したレコードを、会議情報テーブル113に追加する（ステップ805）。

【0070】次に、受け取った議事録の内容505から、各小項目を切り出し、各小項目について、小項目に応する大項目、小項目、結論、理由を切り出し、大項目303、小項目304、結論305、理由306に設定したレコードを議事内容テーブル114に追加する。その際、ステップ804で決定した議事録IDを議事内容テーブル114に追加するレコードの議事録ID301に格納する。また、議事録の内容505中に小項目が複数存在する場合は、同じ議事録IDの議事録内で一意になるような番号を、議事内容テーブル114に追加するレコードの番号302に格納する（ステップ806）。

【0071】なお、大項目や小項目の切り出しや対応づけは、例えば「1.」や「1. 1」の、番号、枝番付き番号に従って行なう。また、結論や理由の切り出しや、小項目との対応づけは、例えば「結論」や「理由」の記述と、その記述位置に従って行う。

【0072】以上、本発明の一実施形態について説明した。

【0073】なお、本議事録管理システムの、サーバコンピュータ101とクライアントコンピュータ102は、同じコンピュータであってもかまわない。

【0074】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、利用者の議事録を用いた作業をより効率的に行えるように、利用者の議事録の利用を支援することができる。

【0075】より具体的には、利用者が、より効率的に、標準として定められたレビュー項目の、過去の会議における実際の検討状況を確認することができる議事録管理システムや、利用者が、より効率的に次回の会議の議題の一覧の作成や議事録の作成を行なうことができる議事録管理システムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態に係る議事録管理システムの構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の実施形態に係る議事入力フォーマットを示す図である。

【図3】本発明の実施形態に係る会議情報テーブルの内容を示す図である。

【図4】本発明の実施形態に係る議事内容テーブルの構成を示す図である。

【図5】本発明の実施形態に係る標準レビュー項目テーブルの内容を示す図である。

【図6】本発明の実施形態に係るレビュー実施状況表示画面を示す図である。

【図7】本発明の実施形態に係る議事録管理システムの動作を示すフローチャートである。

【図8】本発明の実施形態に係るレビュー実施状況集計テーブルの内容を示す図である。

【図9】本発明の実施形態に係る議事録管理システムの動作を示すフローチャートである。

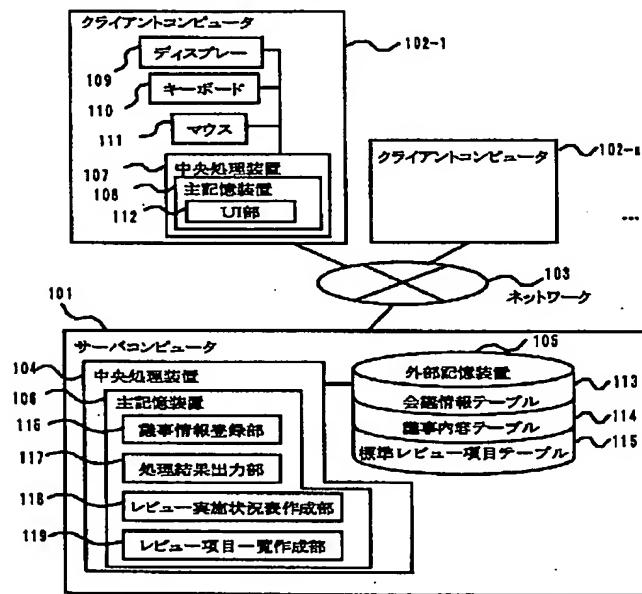
【図10】本発明の実施形態に係る議事録管理システムの動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

101…サーバコンピュータ、102…クライアントコンピュータ、103…ネットワーク、113…会議情報テーブル、114…議事内容テーブル、115…標準レビュー項目テーブル、116…議事情報登録部、117…処理結果出力部、118…レビュー実施状況表作成部、119…レビュー項目一覧作成部、112…UI部。

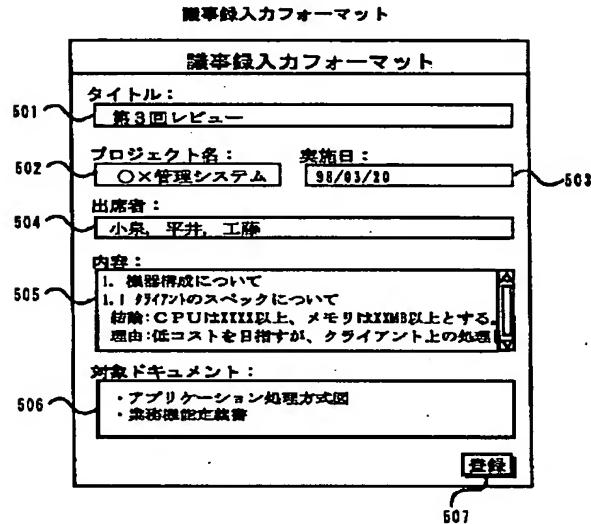
【図1】

図1



【図2】

図2



【図8】

【図3】

図3

会議情報テーブル 113

議事録ID	プロジェクト名	タイトル	実施日	出席者	対象ドキュメント
1	○×管理システム	第3回開発計画会議	98/03/20	記述省略	記述省略
2	○×管理システム	第4回開発計画会議	98/04/01	記述省略	記述省略
...	記述省略	記述省略	記述省略	記述省略	記述省略

図8

レビュー実施状況集計テーブル

レビュー項目ID	実施日
1	6/20
2	6/27
2	7/7
3	7/14
4	7/14
4	7/21
5	7/14
...	

【図4】

図4

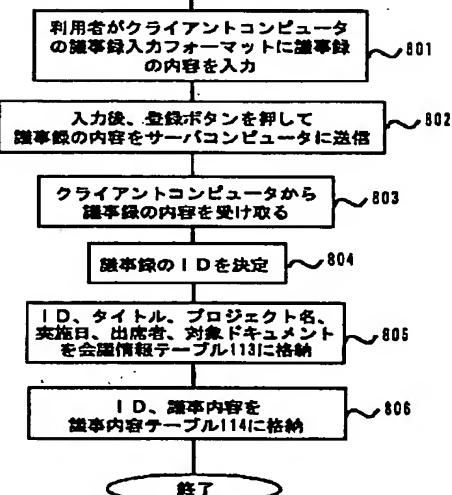
議事録内容テーブル 114				
議事録 ID	番号	大項目	小項目	結論
1 1	機器構成について	クライアント仕様	CPUは...メモリは...	低コストを目指す
1 2	機器構成について	サーバの仕様	CPUは...メモリは...	レスポンス向上...
1 3	機器構成について	ネットワーク機器	容量は...	
... ...	記述省略	記述省略	記述省略	記述省略
2 1	機器構成について	ディスプレイ	解像度は...	操作画面が...
2 2	機器構成について	打印机台数	最大〇台とする	
2 3	機器構成について	打印机の仕様	CPUは...メモリは...	打印机側の処理...
2 4	開発体制について	設計作業	3つのサブシステムに...	並行的に設計...
... ...	記述省略	記述省略	記述省略	記述省略

【図5】

図5

【図10】

図10



標準レビュー項目テーブル 115

項目ID	分類	大項目	小項目	対象ドキュメント
1	システム構成設計	機器構成について	クライアント仕様	ワード/ケーション処理方式図
2	システム構成設計	機器構成について	サーバ仕様	ワード/ケーション処理方式図
3	システム構成設計	機器構成について	ネットワーク機器仕様	ワード/ケーション処理方式図
4	業務機能設計	システム要件の分析	既存資源の活用	業務機能定義書
5	業務機能設計	システム要件の分析	ヘッド/ソリの指定	業務機能定義書
6	業務機能設計	システム要件の分析	平常時/ピー時のデータ	業務機能定義書
... ...	記述省略	記述省略	記述省略	記述省略

【図6】

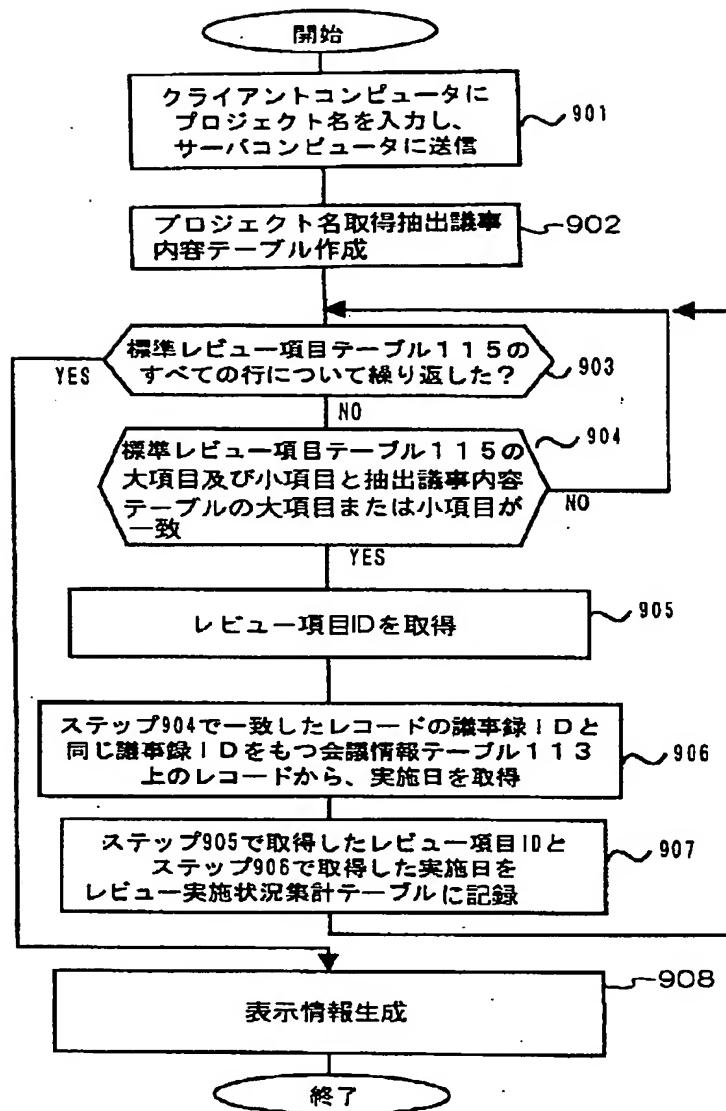
図6

レビュー実施状況表示画面

レビュー実施状況																			
プロジェクト名 :	○X管理システム																		
表示	新規議事録作成																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>大項目</th> <th>小項目</th> <th>回数</th> <th>日付</th> <th>△</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>□ ○システム構成設計</td> <td>□ ○機器構成について</td> <td>□ ○クライアント仕様 □ ○サーバ仕様 □ ○ネットワーク機器仕様</td> <td>2 2 1</td> <td>1/20 1/21 1/1 1/14 1/14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>□ △業務機能設計</td> <td>□ △システム要件の分析</td> <td>□ ○既存資源の活用 □ ○ヘッド/ソリの指定 × 平常時/ピー時のデータ × ヘッド/ソリ目標値 □ ○外部ツールとの接続規約 × セキュリティ × パートナー/サードパーティ方式</td> <td>3 1</td> <td>1/14 1/21 1/14</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		分類	大項目	小項目	回数	日付	△	□ ○システム構成設計	□ ○機器構成について	□ ○クライアント仕様 □ ○サーバ仕様 □ ○ネットワーク機器仕様	2 2 1	1/20 1/21 1/1 1/14 1/14		□ △業務機能設計	□ △システム要件の分析	□ ○既存資源の活用 □ ○ヘッド/ソリの指定 × 平常時/ピー時のデータ × ヘッド/ソリ目標値 □ ○外部ツールとの接続規約 × セキュリティ × パートナー/サードパーティ方式	3 1	1/14 1/21 1/14	
分類	大項目	小項目	回数	日付	△														
□ ○システム構成設計	□ ○機器構成について	□ ○クライアント仕様 □ ○サーバ仕様 □ ○ネットワーク機器仕様	2 2 1	1/20 1/21 1/1 1/14 1/14															
□ △業務機能設計	□ △システム要件の分析	□ ○既存資源の活用 □ ○ヘッド/ソリの指定 × 平常時/ピー時のデータ × ヘッド/ソリ目標値 □ ○外部ツールとの接続規約 × セキュリティ × パートナー/サードパーティ方式	3 1	1/14 1/21 1/14															

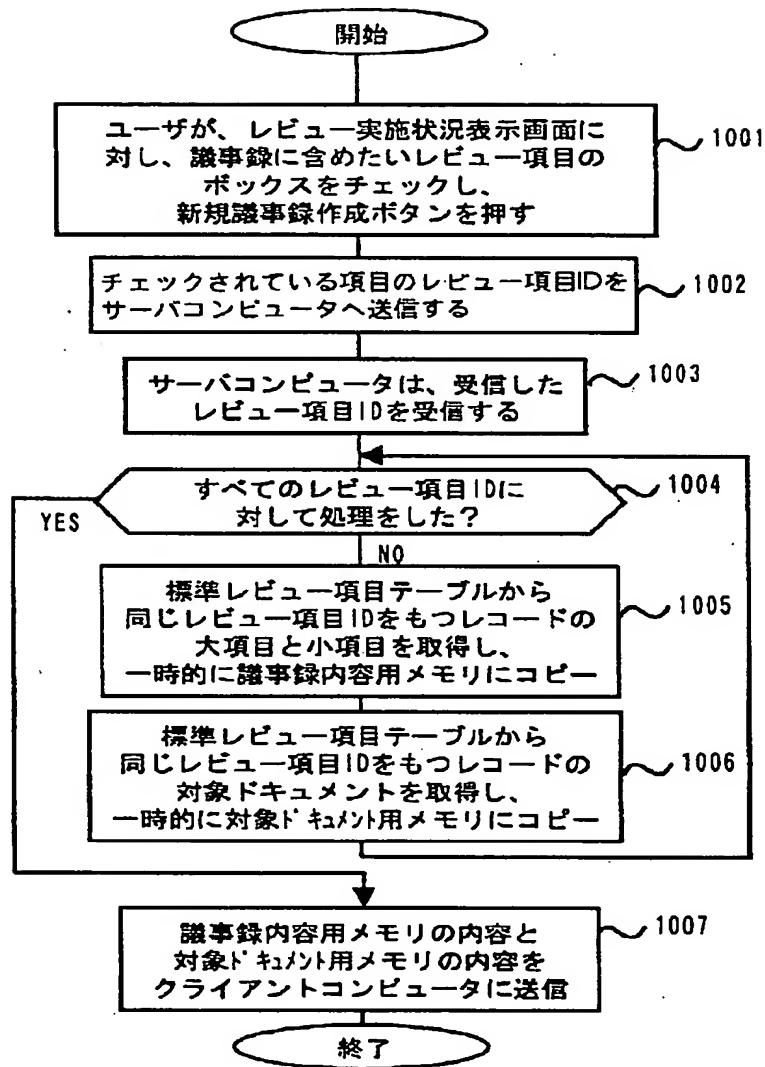
【図7】

図7



【図9】

図9



フロントページの続き

(72)発明者 福士 有二

東京都江東区新砂一丁目6番27号 株式会
社日立製作所公共情報事業部内

45 Fターム(参考) 5B075 KK34 KK39 KK40 ND03 NK04

NK54 PQ02 UU06